

暮らしの
ちえぶくろ

知っていますか？ 「フェアトレード」について

「フェアトレード」とは？

「フェアトレード」とは、発展途上国で生産された作物や製品を適正な価格で継続的に取り引きし、生産者の持続的な生活向上を支える仕組みです。

発展途上国の中には、生産者が十分な生活ができない賃金で労働を強いられているところがあり、そのことが、暮らしを支えるために、多くの子どもたちが働かざるを得ない状況を生み出しています。

国際労働機関 (ILO) の報告によると、平成 24 年の世界の児童労働者は 1 億 6,800 万人となっており、これは全世界の子どもの人口 (5 歳～ 17 歳) の 10.6% に当たります。

消費者である私たちが、正当な価格で取引されたフェアトレード商品を購入することで、発展途上国の人たちの暮らしを支援し、子どもたちが学校で教育を受ける機会を与えることができます。

しかし、私たちがフェアトレード商品を購入することで、すぐに発展途上国の人たちの暮らしが改善されるものではないため、このような支援をブーム的なもので終わらせてはいけません。

現在、一部の企業でもコーヒーやチョコレートなどのフェアトレード商品を販売しています。私たちがフェアトレード商品を選択し購入することは、企業がフェアトレード商品の販売を促進することにもなり、さらにたくさんのフェアトレード商品が店頭に並ぶことにもつながります。まさに、私たちの消費行動で、発展途上国の人たちの暮らしを向上させていくことができ、社会貢献にもつながっていきます。

「フェアトレード」の仕組み

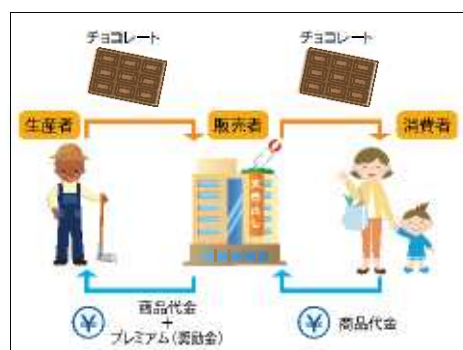
国際フェアトレードラベル機構が定めた「国際フェアトレード基準」では、生産者の持続可能な生産と生活を支えるために必要な「フェアトレード最低価格」が定められ、国際市場価格が下落しても、輸入業者は「フェアトレード最低価格」以上を生産者組合に保証しなければいけません。

さらにプレミアム（奨励金）が輸入業者から生産者組合に保証されることにより、生産技術の向上や機材の購入、地域の学校や病院の建設といった社会発展を実現させることが可能になります。

また、フェアトレードでは、環境や労働条件にも配慮し、環境破壊をしない持続的な生産技術や原料を使うことを原則とし、森を破壊したり、危険な農薬を使ったりすることなく安全で衛生的な労働環境が守られるように定められています。

フェアトレード製品には、国際フェアトレードラベル機構が定めた基準が守られている事を証明する「国際フェアトレード認証ラベル」が貼られているものや、企業が独自で基準を設けて「フェアトレード」と表記されているものがあります。

価格面だけではなく、手にする商品がどこから来て、支払うお金がどこにいくのかを考えて、このような商品の購入も検討されてはいかがでしょうか。



国際フェアトレード認証ラベル